

別添資料

文化財の名称等				
名称	員数	基準	建設年代	所在地
下今井諏訪神社 諏訪社	1棟	3	寛延 3(1750)年	松本市大字今井 2971-2
下今井諏訪神社 八幡社	1棟	3	寛政 2(1790)年	
下今井諏訪神社 八坂社	1棟	3	嘉永 4(1851)年	
下今井諏訪神社 神楽殿	1棟	1	万延元(1860)年	
續麻・今井(兼平)神社 續麻社	1棟	3	安政 6(1859)年	松本市大字今井 1077
續麻・今井(兼平)神社 兼平社	1棟	3	天保 4(1833)年	
續麻・今井(兼平)神社 神明社	1棟	1	安永 9(1780)年	
續麻・今井(兼平)神社 神楽殿	1棟	1	嘉永 6(1853)年	
旧小穴家住宅 主屋	1棟	1	大正後期	松本市北深志1丁目 319-1
旧小穴家住宅 書庫	1棟	1	大正後期	
旧小穴家住宅 離れ	1棟	1	昭和 11 年	
黒川堰追平隧道	1基	1	明治 34 年頃	松本市波田 3622-4
旧料亭信濃離れ 菊の間	1棟	3	大正前期	諏訪市大手 2 丁目 3008-1 他
旧料亭信濃離れ 桐の間	1棟	3	大正前期	
山崎長兵衛商店旧店舗(荒町TheGATE)	1棟	1	大正 15 年	小諸市荒町 2 丁目 2789-1
栗林家住宅(創舎わちがい) 店舗	1棟	1	大正後期	大町市大町 4084-1 他
栗林家住宅(創舎わちがい) 主屋	1棟	1	江戸末期	
栗林家住宅(創舎わちがい) 門及び塀	1棟	1	明治前期	
鶴樓(福井家別荘主屋)	1棟	2	昭和 16 年	北佐久郡軽井沢町 大字軽井沢字北卯ツ木原 291
旧小野郵便局局舎	1棟	1	昭和7年	上伊那郡辰野町大字小野 956
喜多屋新井家住宅 主屋	1棟	1	江戸後期	上伊那郡宮田村 3285-19
旧喜多屋新井家住宅 東蔵	1棟	1	江戸後期	上伊那郡宮田村 3285-18
旧井桁屋新井家住宅(タカノ株式会社) 文庫蔵	1棟	1	江戸末期	上伊那郡宮田村 3287-2
旧井桁屋新井家住宅(タカノ株式会社) 新蔵	1棟	1	明治 31 年	上伊那郡宮田村 3287-6
正木屋山浦家住宅 南蔵	1棟	1	慶応 4(1868)年	上伊那郡宮田村 3256

基準＝登録有形文化財登録基準

建築物、土木構造物及びその他の工作物（重要文化財及び文化財保護法第 182 条第 2 項に規定する指定を地方公共団体が行っているものを除く。）のうち、原則として建設後 50 年を経過し、かつ、次の各号の一に該当するもの

- (1) 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- (2) 造形の規範となっているもの
- (3) 再現することが容易でないもの

本殿の虹梁に洗練された意匠をもつ氏神

○ 下今井諏訪神社 諏訪社など4件

諏訪社は下今井の水田と社叢に囲まれた氏神の本殿。一間社流造で元こけら葺、二軒繁垂木、身舎円柱、向拝角柱で浜縁付。緩い曲りの海老虹梁や絵様等時代相を示す。八幡社、八坂社は本殿の相殿で、移築したもの。神楽殿は入母屋造棧瓦葺、軒は出桁で支え元茅葺。床下に残る炉は祭事用で、水管理の会合も行ったと伝わり、境内の歴史的景観を形成する。



下今井諏訪神社 諏訪社



〔問い合わせ先〕 松本市教育委員会 文化財課

電話 0263-34-3292

二つの本殿の向拝は彫刻で華やかに飾られる

○ 續麻・今井（兼平）神社 續麻社など4件

續麻社は曲りの強い海老虹梁で向拝を付し、正面建具は青海波の格子戸を建て、内部は内外陣に分ける。向拝水引虹梁や手挟等を彫刻で華やかに飾る。兼平社は向拝柱筋と菖蒲桁筋に各々精緻な彫刻を施した手挟みを付し、虹梁欄間の龍彫刻等全体を華やかに飾る。合祀した神明社は兼平社の南に建ち、素木造で簡明な社殿。神楽殿は、切妻造平入棧瓦葺で、元は茅葺。本殿前の歴史的景観を構成し、祭礼空間となる。



續麻・今井（兼平）神社 續麻社



〔問い合わせ先〕 松本市教育委員会 文化財課

電話 0263-34-3292

玄関ポーチを設けた外観が大正の息吹を示す近代住宅

○ 旧小穴家住宅 主屋など3件

主屋は平屋建切妻造妻入棧瓦葺で、棟中央両面に切妻破風を設ける。内部は西面の玄関ポーチから中廊下を通し、南に洋室と和室二室、北に台所と風呂を配し、南東に納戸を張出す。書庫は主屋の東に接続、二階建切妻造妻入棧瓦葺の東西棟で、西に戸口を設ける。窓に鉄扉を吊り、嚴重な造り。離れは主屋南東で平屋建切妻造棧瓦葺、壁は下見板張で、北面に玄関を設ける。小規模ながら丁寧な造り。



旧小穴家住宅 主屋



〔問い合わせ先〕 松本市教育委員会 文化財課

電話 0263-34-3292

コンクリート普及以前の隧道として貴重

○ 黒川堰追平隧道 1件

梓川右岸にある農業用水路で、下流の河岸段丘上、旧波田町上波田・中波田・下波田及び山形村竹田を灌漑範囲とした。高さ1.3メートル、開削当初は素掘りで、大正期に石積改修し、切石積アーチ構造とした。側壁は現場の岩を利用し、アーチ部は梓川の花崗岩等を利用。コンクリート普及以前の隧道として貴重である。



黒川堰追平隧道 隧道下流側坑口



〔問い合わせ先〕 松本市教育委員会 文化財課

電話 0263-34-3292

内外に渡り技巧を凝らした旧料亭の離れ

○ 旧料亭信濃 離れ 菊の間など2件

菊の間は、平屋建入母屋造棧瓦葺の東西棟で北面し、内部は東を寄付、西を八畳座敷とし、南面に縁を付して水屋と便所に連絡する。床や書院、窓廻りや天井に多様な竹を散り嵌め、細部まで技巧を凝らし、煎茶趣味が溢れる。桐の間は、平屋建入母屋造棧瓦葺の南北棟で東面し、内部は北の玄関から取次ぎの間を通して十畳の座敷に至る。座敷の畳床と両脇床の構成は近代らしい。銘木や竹をふんだんに用いる。



旧料亭信濃離れ 菊の間

〔問い合わせ先〕 諏訪市教育委員会 生涯学習課 電話 0266-52-4141 (内線582)

小諸の商家の洋風店舗で現在は商業施設として活用

○ 山崎長兵衛商店旧店舗 (荒町^{あらかち}TheGATE) 1件

小諸城下の荒町に所在。木造総二階建、石造風意匠のモルタル仕上正面ファサードを立ち上げ、背後に片流れ屋根を架ける。一階南半を商品置場、北半を土間とミセ、二階は付書院床構えの大きな続き座敷とする。荒町は小諸宿を支える商工業の町で、現在も通り沿いに多くの商家が軒を連ねており、街道沿いの歴史的景観を形成する。



山崎長兵衛商店旧店舗(荒町TheGATE)

〔問い合わせ先〕 小諸市教育委員会 文化財・生涯学習課

電話 0263-22-1700 (内線2281)

大町市の中心地にある庄屋の町家で現在は料理店として活用

○ 栗林家住宅(創舎わちがい) 主屋など3件

栗林家は大町組大庄屋を務めた旧家。近代以降も戸長、運送業、医院を営む。屋号は「輪違」。店舗は、切妻造平入棧瓦葺で通りに面し二階に床付座敷を配する。主屋は、通りから門、庭を前面に介して位置し、南側の店舗側面後方と接続する。切妻造平入で元は板葺。門は店舗の北に並んで通りに開く切妻造棧瓦葺の薬医門。北側袖壁に潜り戸を設け、格式有る構えで歴史的景観を伝える。



栗林家住宅(創舎わちがい)

写真提供：大町市教育委員会

〔問い合わせ先〕大町市教育委員会 生涯学習課

電話 0261-23-4760

ヴォーリズが軽井沢で設計した最後期の別荘の一つ

○ 鶴樓(福井家別荘 主屋) 1件

「鶴樓」は暖炉の石積が鶴の首のような形状を示すことによる。木造二階建切妻造棧瓦葺。外観は下見板張で暖炉の石積が目目を引く。一階の居間と食堂は衝立で、二階は続き間座敷として、各階緩やかに2室に区切り、大きな出窓を開け眺望を誇る。洋室の用材を吟味し、数寄屋の佇まいを呈する。



鶴樓(福井家別荘 主屋)

写真提供：軽井沢町教育委員会

〔問い合わせ先〕軽井沢町教育委員会 生涯学習課文化振興係 電話 0267-45-8695

営業時のカウンターなどが残り、現在は歴史資料展示等で活用

○ 旧小野郵便局局舎 1件

伊那街道沿いの小野宿に西面する郵便局。平屋建寄棟造妻入鉄板葺で、外壁は下見板張とする。内部は西半を窓口事務室とし、東半は中廊下の北に二室、南に二室を並べ、南西に床付座敷を配す。昭和60年まで郵便局として利用。宿場の近代化を伝える貴重な建物。



旧小野郵便局局舎



〔問い合わせ先〕辰野町教育委員会 生涯学習課文化係

電話 0266-41-1681

伊那街道の宮田宿に所在する町家

○ 喜多屋新井家住宅 主屋など2件

新井家は代々名主を務めた旧家で近代以降は醤油醸造を営む。主屋は二階建切妻造平入で西面し、北辺の醤油醸造用の表蔵と一体で鉄板葺屋根を架ける。軒が低く間口は長大である。東蔵は町所有となっており、主屋東側に西面し、外壁は漆喰仕上で腰は海鼠壁。通路東面に門を開き、敷地東辺を形成する。



喜多屋新井家住宅 主屋



〔問い合わせ先〕宮田村教育委員会 生涯学習係

電話 0265-85-2314

伊那街道の宮田宿に位置し、現在は会社の倉庫として活用

○ 旧井桁屋新井家住宅（タカノ株式会社）^{ぶんこくら} 文庫蔵など2件

2棟とも二階建切妻造妻入棧瓦葺。文庫蔵は西面に戸前となる下屋、北面に小庇を付す。外壁は軒裏まで漆喰塗込めとし、腰は海鼠壁とする。北面窓の土扉を鰻絵で飾る。新蔵は東面に戸口を設けて漆喰塗込の下屋を付す。外壁は漆喰仕上、腰は海鼠壁とする。街道に面して観音開き窓を開き、宿場の歴史的景観をつくっている。



旧井桁屋 新蔵（左後方は文庫蔵）



〔問い合わせ先〕 宮田村教育委員会 生涯学習係 電話 0265-85-2314

伊那街道の宮田宿に位置する酒造業の土蔵

○ 正木屋山浦家住宅^{まさきや} 南蔵^{みなみぐら} 1件

正木屋は文政年間（1818～1830年）に酒造を始め、その後、中馬の荷問屋も担っていた。二階建切妻造の東西棟を2棟並べ、東を米蔵、西を座敷蔵とし、棧瓦葺屋根を一体で架ける。外壁は漆喰仕上で腰は海鼠壁。座敷蔵一階は2箇所にも床を設け、周囲の建具を板絵で飾る。



正木屋山浦家住宅 南蔵（手前）



〔問い合わせ先〕 宮田村教育委員会 生涯学習係 電話 0265-85-2314